

すいしんいんセッション

～ 推進員同士で本音で語ろう！知恵と工夫を寄せあおう！～

< 推進員仲間とつながり、一緒に悩み、一緒に一歩！ >

発表者（神崎さん）への質問

質問：

認知症カフェはよくサロンとの棲み分けができていないのでは？と上司から言われますが、私的にはみんなで楽しいことをできていればよいのでは…と思うのですが…どう思われますか？

回答：

目的は認知症の方の意思が大事だと思います。その方がサロンの雰囲気がお好きであればそちらに行けるようサポートすれば良いと思います。

質問：

認知症カフェを次年度より実施を計画しています。そこで目的を悩んでいます。

「認知症を地域の人に理解してほしい」とすると、実際当事者は参加しづらいと地域の人からの意見がでました。「実際認知症の人に参加していただく」となると、なかなか地域の中でカフェが浸透していかないのかなと考えています。実際認知症カフェとは、後方の目的で実施されるものですか？

回答：

認知症カフェの目的を明確にすることが大切だと思います。当事者の方がどんな居場所や何を望んでいるか聴取する必要があるかと思います。

質問：

認知症カフェの学生ボランティアは大学生？高校生？中学生？また、学生ボランティアの募集方法はどのようにしていますか。

回答：

2014年から熊本保健科学大学(元々看護科やPTなど医療関係の大学生)を対象に大学の先生が認知症サポーター養成講座を受講した学生、その後のステップとしてアルツハイマー講演会の参加を推奨されて認知症に特化した学生ボランティアを育成されています。(現在184名)その大学生が一般大学、および他県(近畿地方、関東)にも輪が広がっています。介護保険施設併設の認知症カフェと学生とのグループlineで情報共有、活動募集されています。

質問：

委託の包括で兼任で働いています。認知症カフェもしていますが、当事者の方お一人で来るのが難しいこともあります(道迷いや場所が分からない)。送迎がないことから参加することができなく残念に思うこともあります。他の地域ではどのような対応をしていますか。

回答：

送迎は基本的に家族がサポートされたり、本人がまだ軽度で近場であれば単独で参加されることもあるようです。認知症に理解のあるご近所の方や認知症サポーター、民生委員さんなど身近な方が声かけて同行していただけないか依頼するのも手段かもしれません。

質問：

学生が来ることについて、認知症の方本人は抵抗感のある方はおられますか？また、抵抗がありそうな方へのフォローなどがあれば教えていただきたいです。

回答：

これまでそのような事は耳にしたことがありません。ご高齢の方は若い方が来られると、大変喜ばれ笑顔になる方がほとんどです。認知症に対する勉強もされている学生さんの純粋な人生経験の先輩であることの認識、人としての丁寧な対応もあり当事者の方と一緒に何かを取り組むことに対して抵抗が見られません。